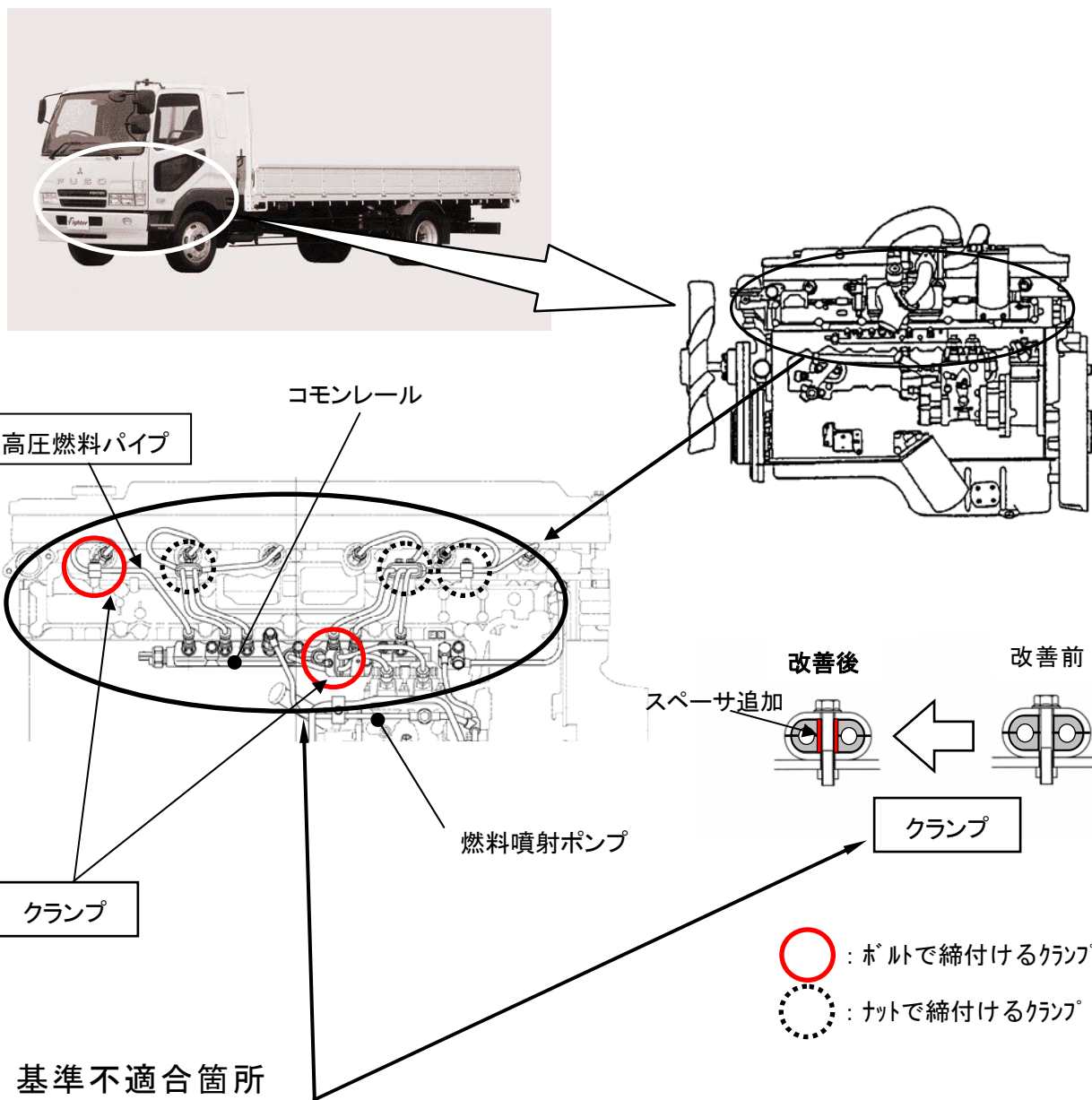


# 改善箇所説明図



燃料噴射装置の高圧燃料パイプを固定するクランプの構造が不適切なため、エンジン振動によりクランプボルトが緩み、当該クランプが脱落することがある。  
 そのため、そのまま使用を続けると、高圧燃料パイプに亀裂が生じ、燃料が漏れ、最悪の場合、エンジン停止、再始動不能に至るおそれがある。

**改善の内容**  
 全車両、ボルトで締付けるクランプについては対策品と交換し、ナットで締付けるクランプについては植え込みボルトのネジ面に接着剤を塗布し、規定トルクで締付ける。  
 なお、当該クランプが脱落したもの、又は燃料漏れがあるものは当該パイプを新品と交換する。  
 又、整備時の注意事項を記載した注意銘板をエンジン上面へ貼り付ける。

注：□は、交換部品を示す。  
 識別：作業完了車には、所定の位置に「MT-14」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。  
 トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近。 バス：左後部点検リッド裏上隅部。